

# ノリ養殖環境速報 KH-01-09 (播磨灘)

令和2年1月29日 発行

調査年月日：令和2年1月27,28日

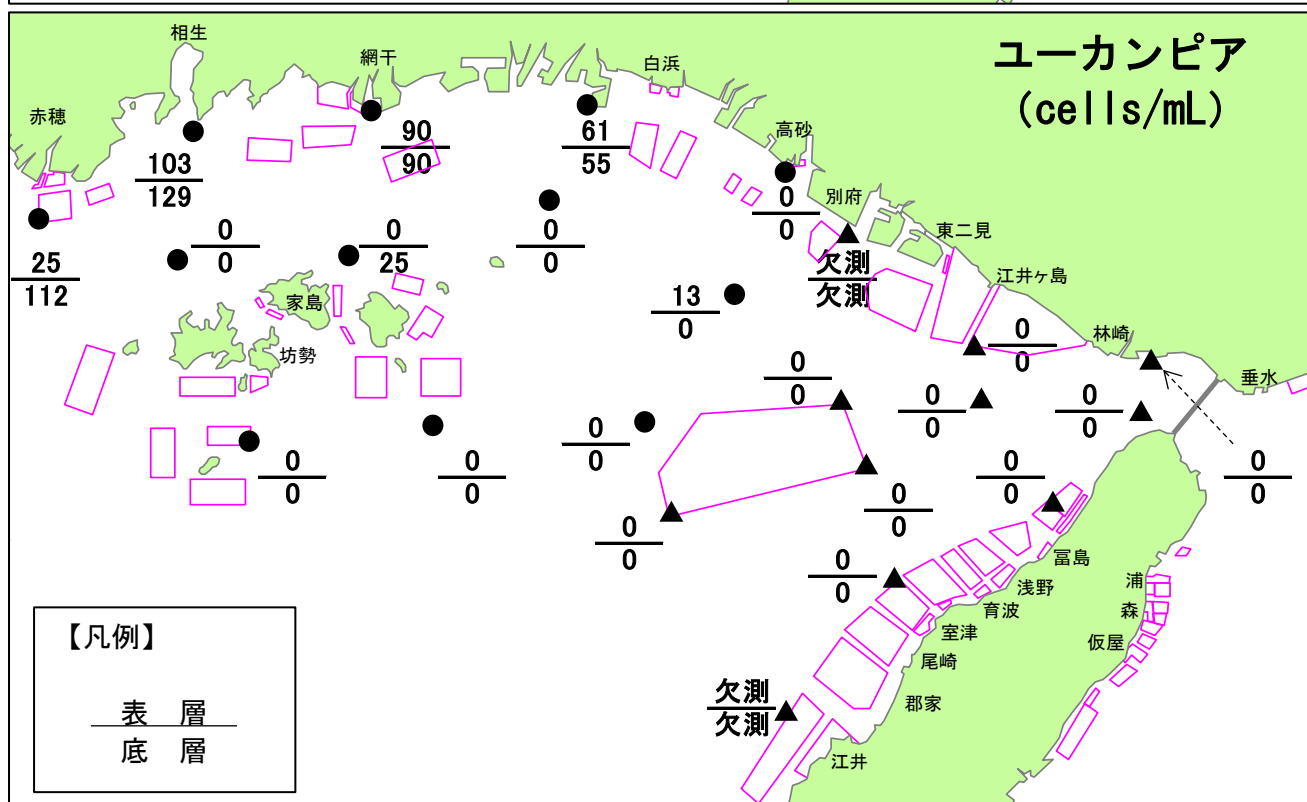
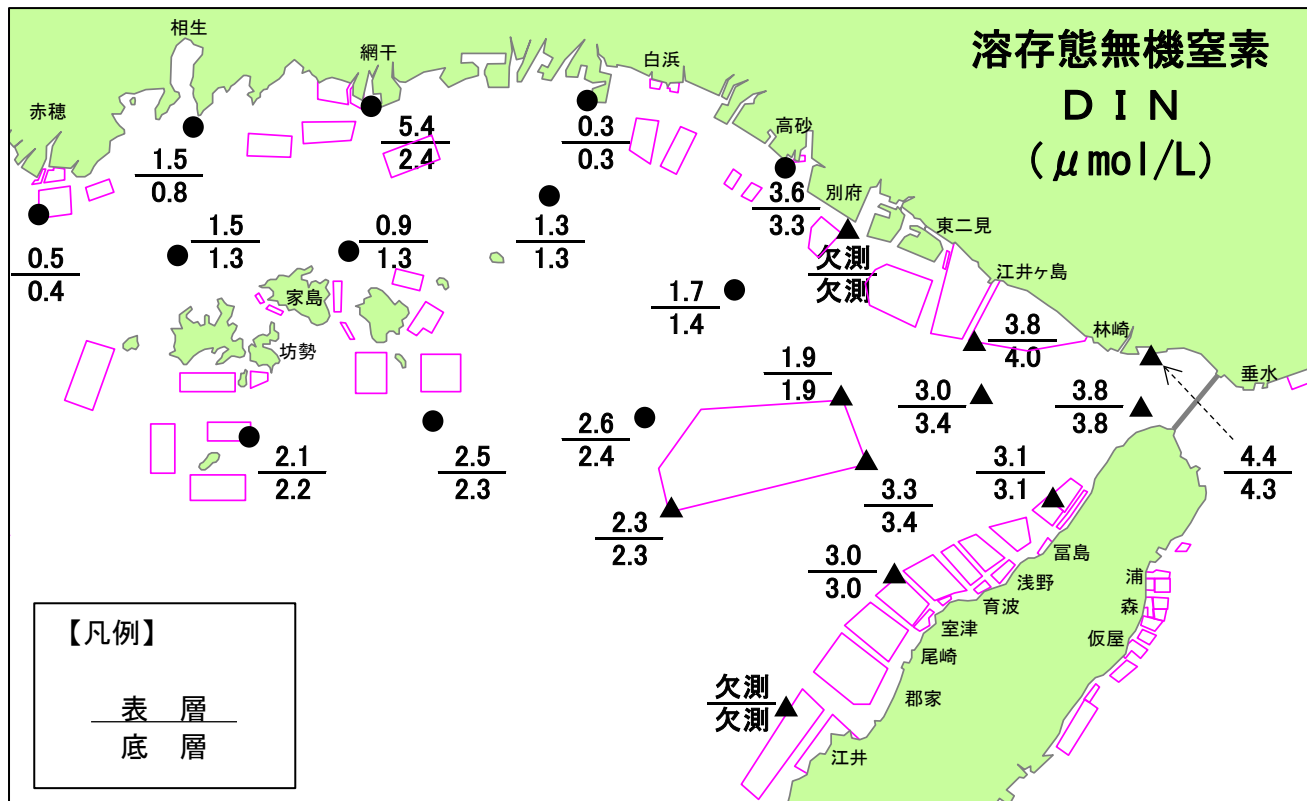
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

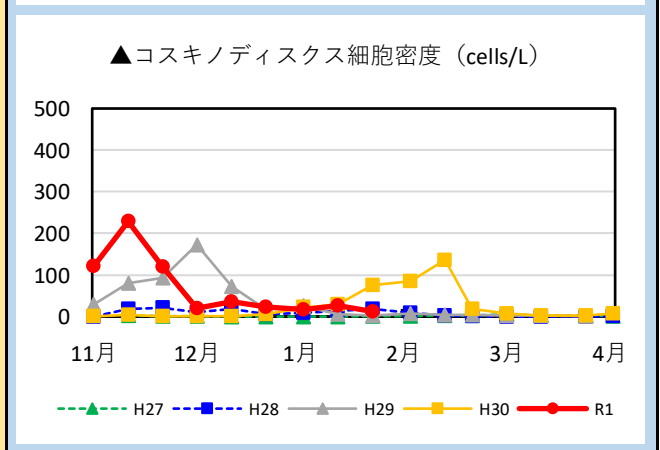
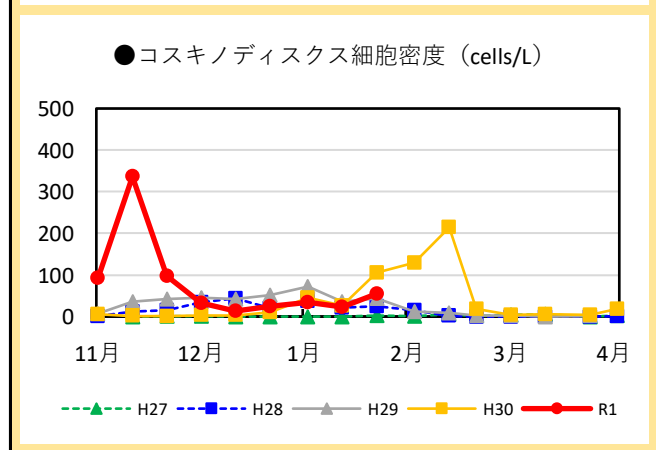
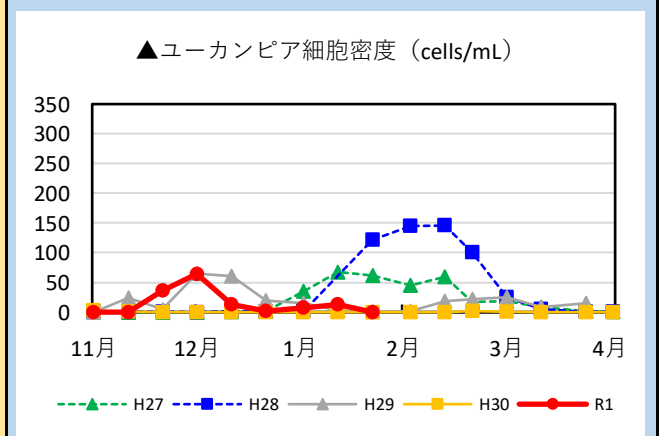
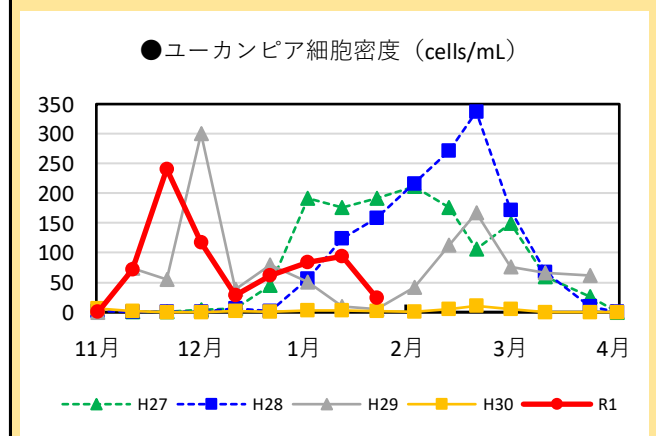
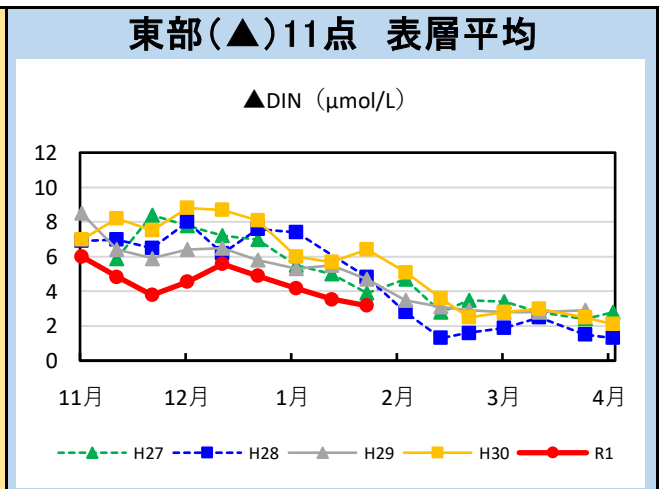
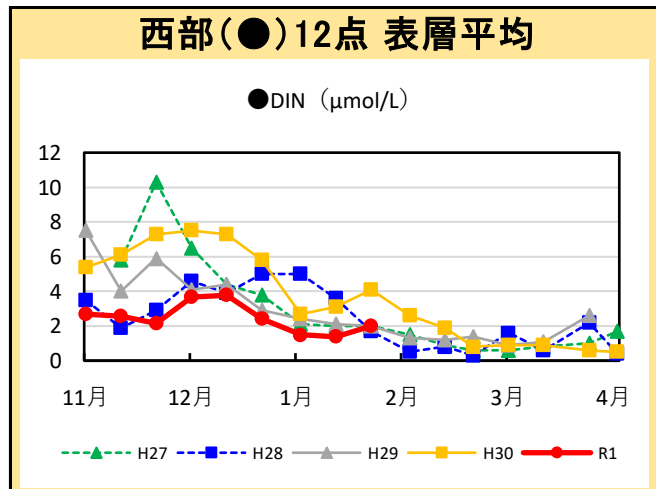
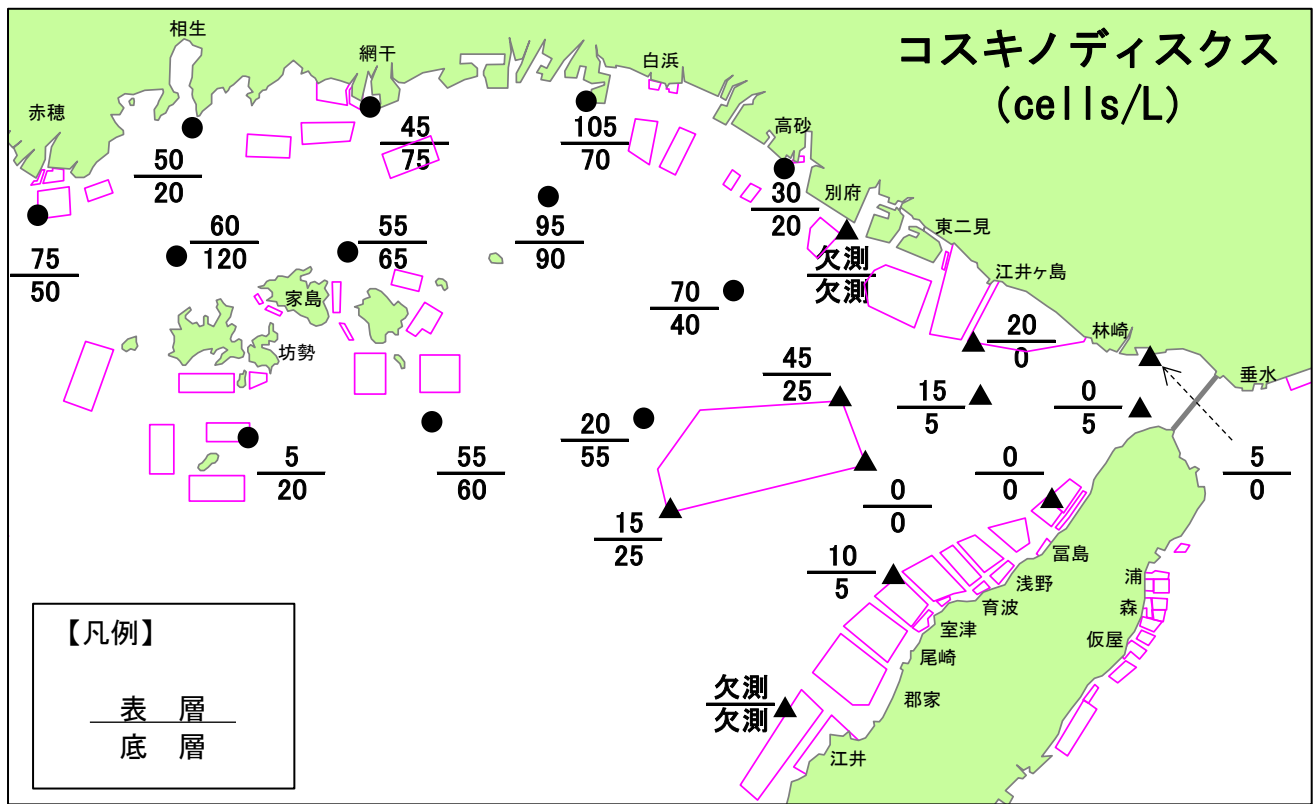
## 概況

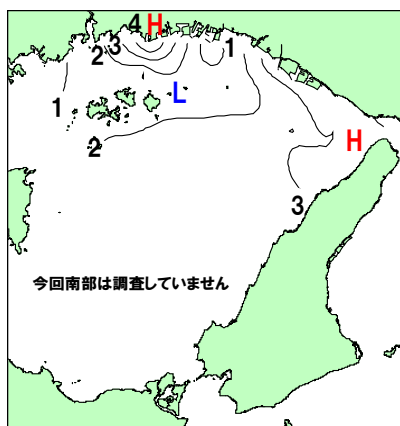
播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.3~5.4 $\mu\text{mol/L}$ 、東部では1.9~4.4 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。鹿ノ瀬や家島諸島周辺では1.0~2.0 $\mu\text{mol/L}$ 前後と、前回と同様で低い値になっています。

大型珪藻のユーカンピアは西部沿岸域に残存するものの、前回よりも減少傾向です。

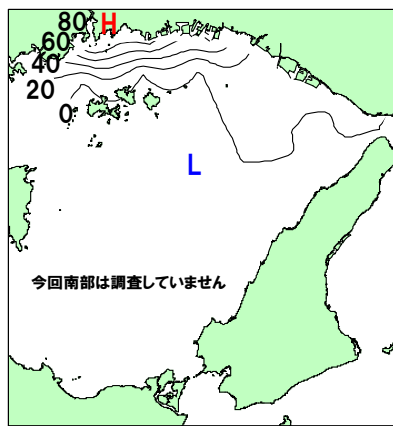
水温は、白浜以西では10.8~11.4 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では11.4~12.2 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で11.4~11.9 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では12.1~12.7 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では11.9~12.2 $^{\circ}\text{C}$ でした。



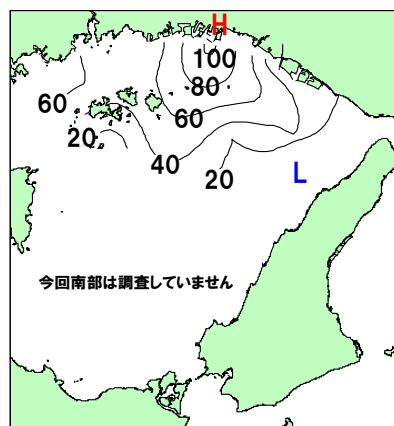




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

### 令和2年1月27,28日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

#### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、北部沿岸で局所的に高く、家島諸島周辺で低い結果でした。なお、ここ数日の降雨により栄養塩濃度が一時的に回復した海域もありますが、今後は例年通り日が進むにつれて徐々に低下していく見込みです。

北西部海域で多く発生していたユーカンピアは減少傾向にあります。反対に、コスキノディスクス・ワイレシーが北部海域を中心にやや増加傾向にありますので、今後の動向にご注意下さい。

#### 週間天気予報 気象庁1月28日16時33分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、北部では雪または雨の降る日がある見込みです。

最高気温は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日があるでしょう。

最低気温は、期間の前半は平年よりかなり高く、後半は平年より高い見込みです。

降水量は、平年より少ないでしょう。

#### その他の情報

- ・岡山県の情報は1/23に、香川県の情報は1/21に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouthou.htm>

【参考】栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

#### 【今後の予定】

・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。

・次回は令和2年2月5日頃に発行する予定です。

※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。